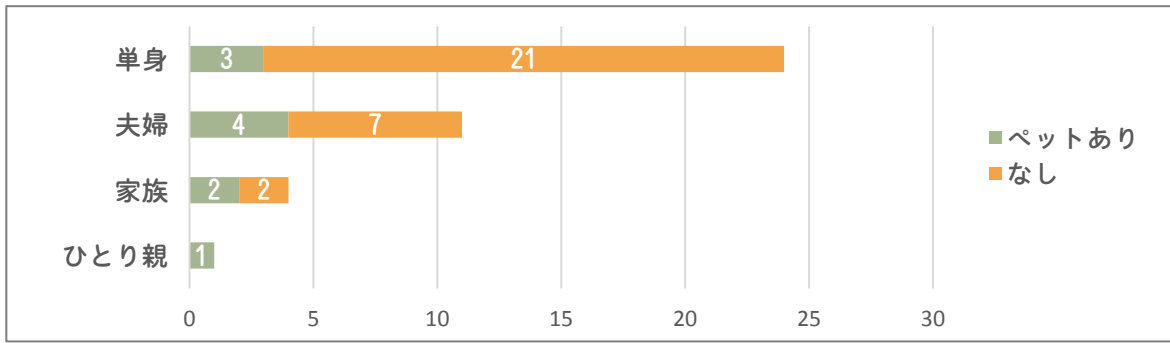


移住検討者のアンケート

■ 移住を検討する世帯のうち6割が単身者

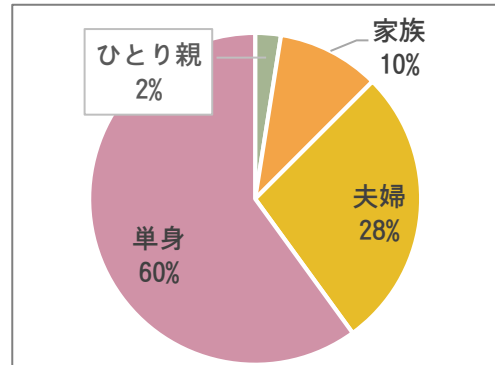
Q 移住をしようと思う世帯について教えてください。



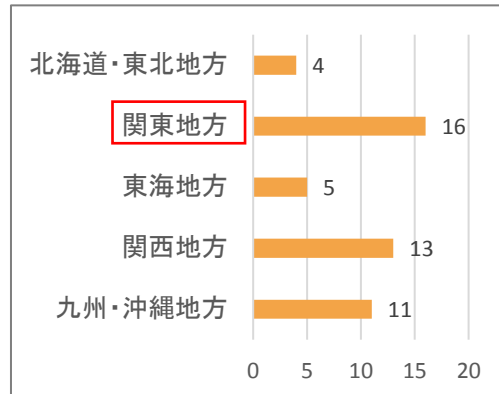
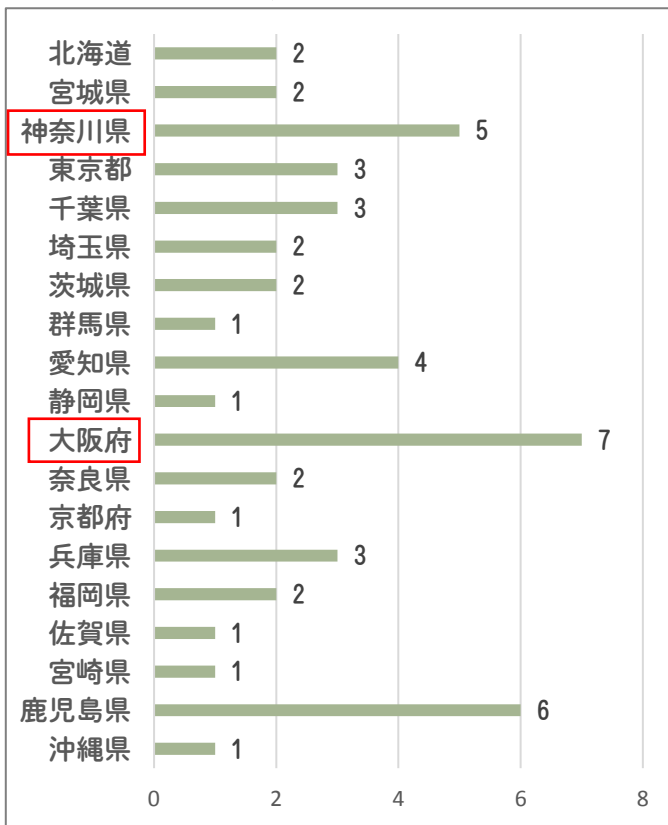
移住検討者のうち、60%が単身世帯であり、全体の1/4は、ペットと共に移住を検討している世帯が多いことが分かります。

考察

年齢層から見ると、20～30代で単身のうちに新しい経験がしたいと、離島移住を検討されているように感じます。



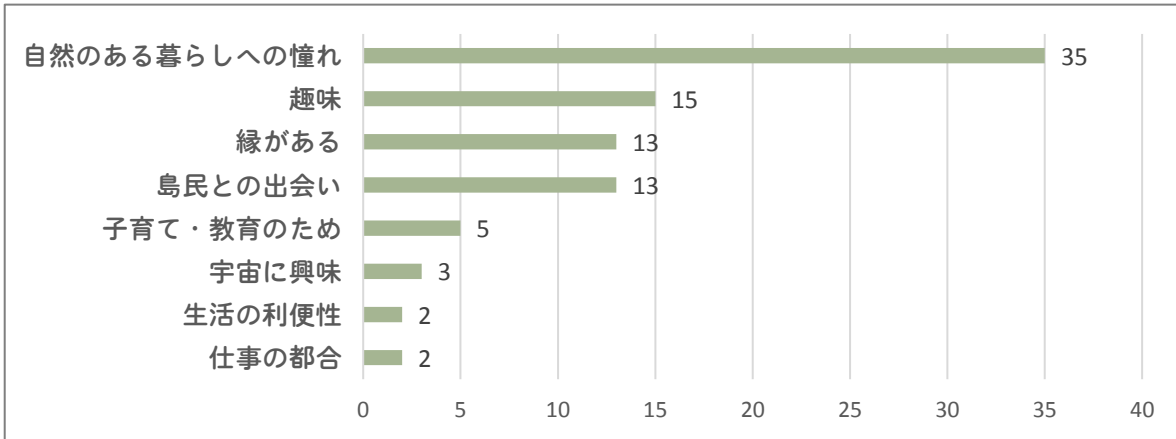
Q 現在の居住地を教えてください。



移住検討者のアンケート

■ 移住のきっかけの内8割以上が「自然のある暮らしへの憧れ」と回答

Q 移住をしたいと思ったきっかけを教えてください。 ※複数回答

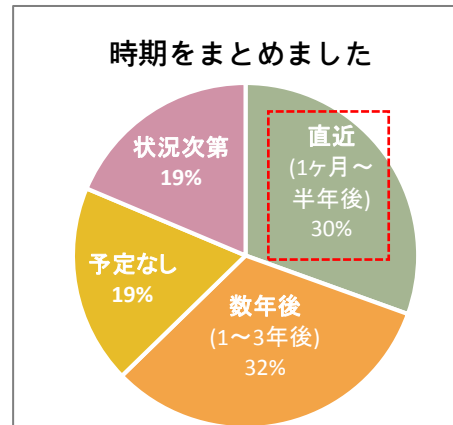
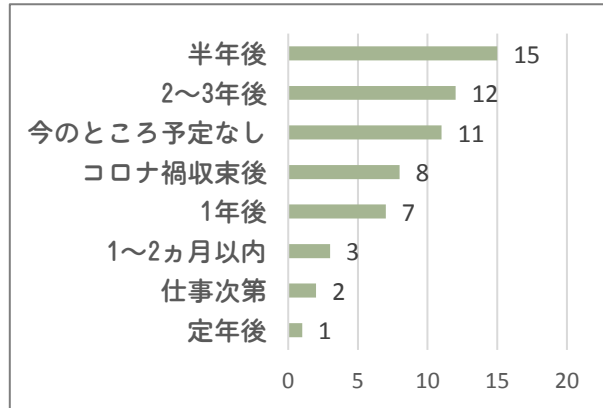


移住をしたいと思うきっかけは、全体の80%以上が「自然のある暮らしへの憧れ」と回答しています。また、種子島に縁があったり、島民との出会いがきっかけになったり、という結果になりました。

考察

移住前に縁があったり、島民との出会いがあったりという回答が多いことから、一度は種子島に来ている方が半数いることがわかります。訪れたことのある地域の方が、移住への1歩が踏み出しやすいと思います。

Q 移住を希望する時期を教えてください。



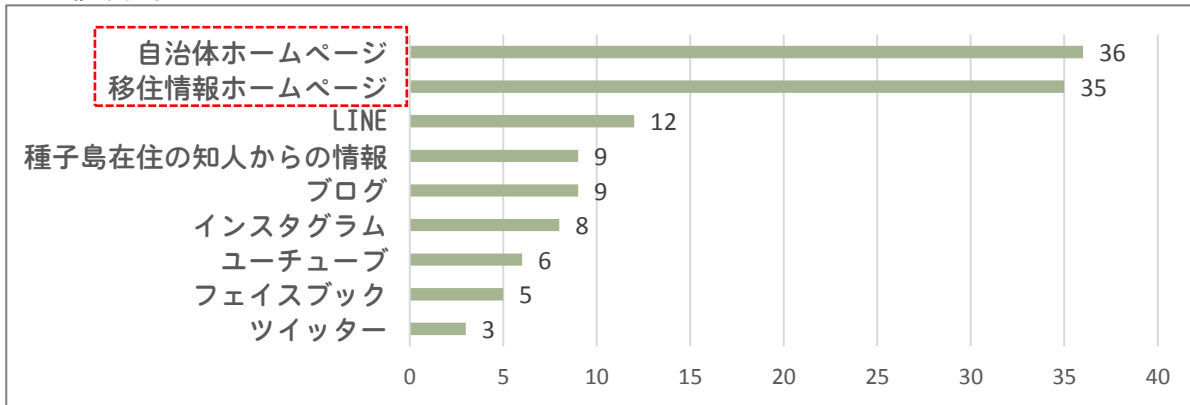
考察

全体の30%が、本サイトを見ている観点から、「直近」を選択している方が多く、次いで数年後の移住計画を考えているようで、種子島への移住を前向きに検討している方が多いことがわかります。

移住検討者のアンケート

Q あなたが移住に関する情報を収集するために利用しているツールを教えてください。

※複数回答



全体の8割以上の方が、自治体ホームページや移住者専用サイトから情報収集していることが、結果からわかります。また、SNSも様々なツールを使い情報収集していますが、大きな差はありませんでした。

考察

多くの人が見ている、自治体のホームページは特に、知りたい情報を伝える、仕掛け作りが必要に感じます。SNSの使用は年代によってもばらつきがあるので、まずは、ホームページの展開をきちんと整理しながら、情報発信に努めていきたいと考えます。

■ 一番の不安は住まい探し！

Q 移住をふまえて不安に思うこと、移住に踏み切れないことについて教えてください。

※複数回答

1位 住まい探し	71%
2位 仕事探し・起業	57%
3位 収入面	43%
4位 人間関係	39%
5位 移住資金	37%
6位 地域性・自治会活動	24%
7位 子育て・教育	14%
8位 自然環境	12%
9位 家族の同意	10%
10位 交通の利便性	8%
11位 特になし	6%
12位 西之表市の感染症事情	4%

49名に移住をふまえて不安に感じることとして聞くと、71%が「住まい探し」への不安を感じていました。次いで、仕事探しや収入面などお金に関する不安が多い結果となりました。また、地域性や人間関係の不安も全体の1/3が不安に感じており、移住に対して様々な壁があることが伺える結果となりました。

Q 上記で回答した理由を教えてください。

▼ 家に関する不安

- ・なかなか空き家が無いのと値段が高い。
- ・一戸建てに住みたいのですがいくらくらいかかるのかわからないので不安です。
- ・ペット可の住宅や空き家バンクが無い。

▼ 仕事や収入に関する不安

- ・仕事(収入面)がある程度に目安にならないと、移住計画も立てられない。
- ・現在と同じ働き方が種子島でも可能か気になります。
- ・納得できる仕事と住まいが見つかるのか不安です。
- ・コロナ禍で下見にもいけない状況なので、インターネットではなかなか仕事を見つけにくい。

▼ 子育てに関する不安

- ・子育ては学校のことを詳しく知りたいです。
- ・ひとりで子供を育てることはできるか 養って行けるか不安です。

▼ 人間関係に関する不安

- ・一番は受け入れられるのか、人付き合いが気になります。
- ・特に人間関係は気になります。家族持ちではないので、奇異な目でみられはしないかと…。
- ・住んでいる場所によって、コロナ差別を受けるのか不安。

▼ 自然環境について

- ・準備と覚悟のために、台風、津波、地震、土砂崩れ、虫などできる限りの情報が欲しいです。

▼ 交通の利便性

- ・交通が不便だと子連れでの帰省が大変そうだなと思ってます。
- ・行ったことがなく、よく分からないから。

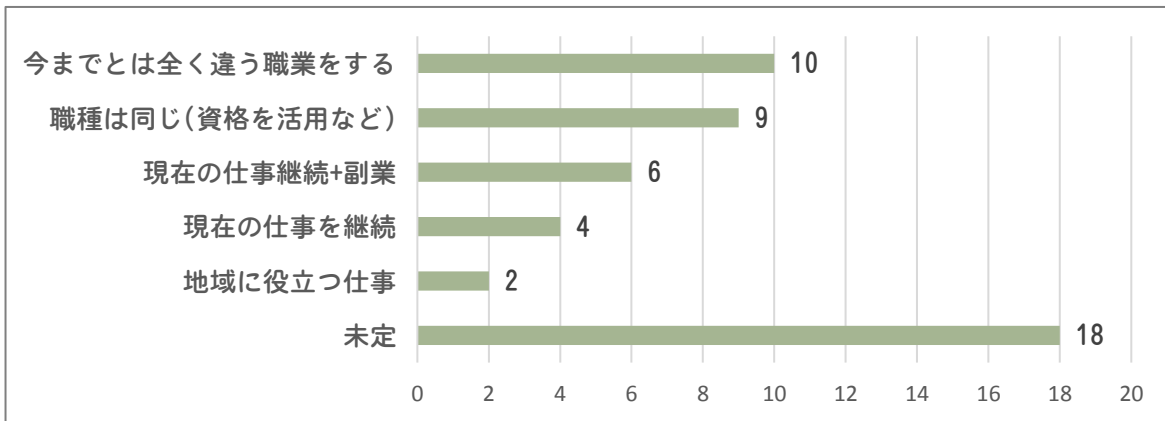
考察

自由記述から、より明確に感じたのはホームページで伝えている情報では限界があり、一人ひとりの移住への困難には差があるということでした。移住を前提に来島した際やオンラインで事前に相談することで、上記の不安はある程度少なくなると思います。しかし一番不安要素の大きい「住まい探し」については、根気強く続ける必要があるため、対応の仕方についても今後検討が必要に感じます。また、ペットと共に移住を考える方も多いので、ペット可の物件についても今後増やす必要があると感じます。

移住検討者のアンケート

■ 移住後の仕事は、未定が全体の3割。新しい事を始めたいが何が良いのか検討中。

Q 移住後の仕事についてあなたの考えを教えてください。



Q 上記で回答した理由を教えてください。

▼ 現在の仕事を継続

- ・慣れている仕事の方が、社会に貢献できると思うため。
- ・仕事内容の少しの違いはあるかも知れないが、馴れているから。
- ・いまの会社がリモートなので

▼ 職種は変わらず、資格や経験を生かす

- ・資格や特技を生かした仕事がしたいから
- ・医療職の資格があり、それを活かしたいため
- ・今は鍼灸師をやっておりますが、鍼灸の需要がどこまであるのかわからないため。
- ・飲食の経験を生かせる仕事があればぜひしたいと思いますが、求人があるのかわかりません。仕事があれば、子育てと両立しやすい職場で働ければいいなと思います。
- ・運転手としての職が長いのでそれを活かしたい。
- ・これまでのキャリアが活かしたらよいが、拘りはないため

▼ 移住を機に起業やスキルアップを検討中

- ・事業をたたくで移住して農業など別のことをやるか？リモート主流の中、事業を続けて移住するか？事業をたたくで再起業するか？迷っています。
- ・新しい自分を作り上げるため。今の自分にないものをスキルアップするため。

▼ 種子島の生活を優先した仕事を考えている

- ・自然に触れた仕事、生活をしたいから
- ・生活資金はあるので、単発でロケット関連のアルバイトか何かしたいとも思います。
- ・種子島での生活を優先したい。現在の職は種子島では難しいため仕事変え。
- ・やれる事であればなんでもやってみたい
- ・種子島でなにか楽しく、地域に貢献できるようなビジネスが見つければ幸せだなと思います。
- ・その土地にある仕事をしたいから
- ・できれば、自然に触れたお仕事がしたいが何があるかまだわからないため。

考察

未定と回答した方が多い理由は、自由記述を見ると、その理由が分かります。島暮らしではこれまでの生活環境とは大きく異なります。その中で、生活費や収入を考えると、どのような仕事に就くか、悩ましいことが予測できます。そのように困らないためにも、それぞれの職種や世帯で生活のシュミレーションが出来るような情報の見せ方も大切のように感じます。